

『学び合い』の導入時に何をしてきたか

埼玉県

小学校教諭 杵淵 眞

◎はじめに

『学び合い』は“魔法の杖”ではない。

☆確認

『学び合い』は考え方である。

特別なことをしているわけではない。

1 4月当初何をしているか

①学級目標をつくる

学校目標との整合性

「知・体・徳」に対応する形で

☆「教育の目標は、人格の完成にある」

多様な人たちと折り合いをつけながら
目標を達成すること

六年一組 学級目標

みんながわかるように学び合う学級

みんなが楽しく運動できるように協力する学級

お互いを大切にし、はげまし合う学級

②学習のきまりをつくる

☆校内には、たくさんのきまりがある。

例「ゲー・ペタ・ピン」

発表のルール

学習準備 など

学習のきまり

- ◎自分だけでなく、みんなができるように
学び合う
 - ◎答えだけでなく、理由もわかるように学
習する
 - ◎自分が一番良いと思う方法で学習する
- ☆友達を傷つけたり、邪魔をしたりしては
いけない

③学級通信をつくる

☆学級通信で、担任としての方針を
しっかりと語る。

- ・『学び合い』をすること
- ・『学び合い』のメリット

澆 漉

2011年4月8日
七本木小学校 6年1組
学級通信 No.1 文責 杵淵 真

よろしくお願ひします

6年1組の担任になりました杵淵 真です。よろしくお願ひします。

みんなができる・わかるように努力する学級をめざす

教師一人ができることは限られています。算数の時間には、二人になったとしても、教師ができることに限界があります。平等に接するとしたら、一人当たりの時間はせいぜい1分程度です。

子どもたちは、誰が何ができるかよく知っています。どんな場面で誰が得意なのか知っています。

例えば、算数の時間に問題を問いていて分からないときに誰に聞くでしょうか。体育で鉄棒ができないとき、誰に聞くでしょうか。算数の時間と体育の時間で質問する人は違っていると思います。

さらに、鉄棒のときと、水泳のときではどうでしょうか。全員が同じ人に質問するでしょうか。

実は、自分にとって、誰が有用な情報を持っているのか、子どもたちはよく知っています。隣のA君にとって有用な情報でも自分にとっては有用ではないこともあります。

その情報を存分に活用する授業をします。子どもたち同士の関わりを大切にします。子どもたち同士で、授業を進めていくようにします。

みんなができるようにすることは、自

分たちで学習を進めていくことになりません。

6年生ですから、自分たちでできることはたくさんあります。自分たちの行動に自分たちで責任を持つことを求めようと思います。

自分ができることは大切です。自分でもできることも大切です。それだけでは、みんなができることにはつながりません。自分ができるようになること、同時にみんなができるようにみんなが少しずつ努力できるように求めます。

一人も見捨てず、みんなができるようになること、みんなが分かるようになること、それが今年の私のめざす学級です。

6年生は、大変やりがいのある学年です。子どもたちが大きく成長し、「大人の話」ができるようになりますし、走でなければならないと思います。

子どもたち同士の世界はどんどん広がります。冒険心もあるので、危険と知っていながら近づいてみたり自分の力を試そうとします。友達関係で悩んだりぼんやりとした将来の不安を感じたりして不安定になったりします。

もし、子どもの様子を見ていて、「いつもと違うなあ」「なにかあったのかな」と感じることがありましたら、遠慮なくご連絡をいただきたいと思っています。

どのように解決していくのか、話し合いながら進めていきたいと思っています。

よろしくお願ひします

6年1組の担任になりました杵淵 眞です。よろしくお願ひします。

みんなができる・わかるように努力する学級をめざす

教師一人ができることは限られています。算数の時間には、二人になったとしても、教師ができることに限界があります。平等に接するとしたら、一人当たりの時間はせいぜい1分程度です。

子どもたちは、誰が何ができるかよく知っています。どんな場面で誰が得意なのか知っています。

例えば、算数の時間に問題を解いていて分からないときに誰に聞くでしょうか。体育で鉄棒ができないとき、誰に聞くでしょうか。算数の時間と体育の時間で質問する人は違っていると思います。

さらに、鉄棒のときと、水泳のときではどうでしょうか。全員が同じ人に質問するでしょうか。

実は、自分にとって、誰が有用な情報を持っているのか、子どもたちはよく知っています。隣のA君にとって有用な情報でも自分にとっては有用ではないこともあります。

その情報を存分に活用する授業をします。子どもたち同士の関わりを大切にします。子どもたち同士で、授業を進めていくようにします。

みんなができるようにすることは、自分たちで学習を進めていくことになります。

6年生ですから、自分たちでできることはたくさんあります。自分たちの行動に自分たちで責任を持つことを求めようと思います。

自分ができることは大切です。自分でできることも大切です。それだけでは、みんなができることにはつながりません。自分ができるようになること、同時にみんなができるようにみんなが少しずつ努力できるように求めます。

一人も見捨てず、みんなができるようになること、みんなが分かるようになること、それが今年の私のめざす学級です。

④何をしないか

(1) 集金袋に名前印を押さない

(2) 細かい掃除当番表、給食当番表を作らない

(3) 朝の会、帰りの会の司会用のシナリオを作らない

(4) 机の前面にはる名前を作らない

(5) 家庭訪問の順番を作らない

2 4月8日 学級開き

☆担任発表の瞬間から『学び合い』は始まっている。

◎教室に入って、教師がしゃべる最初の5分間で1年間の目標設定をしてしまう

★始業式の日は、目標設定をゆっくりとしている時間がない。

今年度の場合

①学級通信に書いたことを繰り返す。

『学び合い』の意義

みんなができることが大切である。

②6年生になるまでに、上級生からたくさんのものをもらってきた。それを今年1年かけて返してほしい。

(内田樹の言葉を借りて)

③大人になることを求める

多様な人たちと、折り合いをつけながら目標を達成する力をつけなさい。

どうしたら良いか、自分で判断しなさい。先生がいてもいなくても同じでしょう。

3 いよいよ新学期

① そうじ初日

「みんなで協力してきれいにし、時間内に終わるようにしてください。」

② 給食当番

「協力して、15分で配膳できるようにしてください」

☆そうじも給食も大変なことになった

○今まで、何をやるのかわかっていたので、自分の役割が終わったら、終わりだったのに、なかなか終わらない。

○給食当番では、何回も運んでいる子どもがいるのに、自分のやることだけやったら、終わりにしている子どもがいる。

教師は何をするか

☆目標を設定したからと言って、簡単に子どもが動くわけではない。

指導するときに、最初に設定した目標と矛盾しないことが大切。

「みんなで協力して進めるはずだよね」

「自分がやることだけやったら終わりでいいんだっけ？」

「一生懸命やっている人は、やっていない人にきちんと言った方がいいよ」

③係を決める

完全立候補制にする

教室に必要な仕事があり、誰も立候補しない場合は、誰がそれをやるのか、相談して決める。

例 黒板係が10人になってしまう
配り係が1人になってしまう
さて、どうするか？

4 授業開始

(1) 体育

体育係に

「次の時間は、体力テストの練習です。

50m走、ボール投げ、立ち幅跳びの記録をとってください。

みんなで上手にやってくださいね。」

と指示する。

さて、どうなったか？

- ①整列・準備運動
- ②全員で50m走の測定
- ③全員でボール投げの測定
- ④全員で立ち幅跳びの測定

☆時間切れ

その間、何も言わずに子どもたちがやっていることを見ている。

(2) 図工

「酒井式描画法」で「百羽の鶴」を描く

○「酒井式」の指導をシナリオ通りに進める。

○描き始めると、席を立ったり、話し合ったりして、楽しく進めるようになる。

「酒井式」は『学び合い』に向いている

(3)算数

1 対称な図形

線対称と点対称

単元の目標

「線対称及び点対称の意味について理解するとともに、対称性に着目して基本的な図形を考察すること。」

I 対称な図形 P.6～22 10時間

6年 組 名前

時	日	学習のめあて	学習の記録	評価
1		自然や人工物の中には、整った形があることに興味をもち、調べようとする意欲をもつ。 P.6-7		
2		折り重ねて重なる形を作ったり、折り重ねたときの重なる点や直線を調べたりして、線対称な図形を理解する。 P.8-9		
3		線対称な図形の性質を調べ、まとめる。 P.10		
4		線対称な図形の性質を用いて、線対称な図形をかくことができる。 P.11		
5		180°まわして重なる形を作り、180°まわしたときに重なる点や直線を調べたりして、点対称な図形を理解する。 P.12-13		
6		点対称な図形の性質を調べ、まとめる。 P.14		

子どもの記入例

時 日	学習のめあて	学習の記録	評価
1 2011.4.7 杵淵	自然や人工物の中には、整った形があることに興味をもち、観察しようとする意欲をもつ。 P.6-7	自然や人工物の中には、整った形があることに興味をもち、観察しようとする意欲をもつ。 P.6-7	よくできました
2 2011.4.14 杵淵	折り重ねて重なる形を作ったり、折り重ねたときの重なる点や直線を調べたりして、線対称な図形を理解する。 P.8-9	M はまがし すべてすべがし 最後 はまがし	よくできました
3 2011.4.15 杵淵	線対称な図形の性質を調べ、まとめる。 P.10	まがまが まがまが まがまが	よくできました
4 2011.4.18 杵淵	線対称な図形の性質を用いて、線対称な図形をかくことができる。 P.11	まがまが まがまが まがまが	よくできました
5 2011.4.20 杵淵	180°まわして重なる形を作ったり、180°まわしたときに重なる点や直線を調べたりして、点対称な図形を理解する。 P.12-13	まがまが 180°まわした まがまが	よくできました
6 2011.4.20 杵淵	点対称な図形の性質を調べ、まとめる。 P.14	まがまが まがまが まがまが	よくできました

good. おこる?

(4)社会科

○社会科の指導計画

教科書についてい

る教師用指導書研究

編の単元構成

◎単元構成

つかむ	4時間	①三内丸山遺跡と縄文の村 ②板付け遺跡と米づくり ③縄文と弥生のくらし ④学習の進め方
調べる	3時間	⑤むらからくにへ ⑥巨大古墳と豪族 ⑦大和朝廷と国土の統一
まとめる・ いかす	1時間	⑧学習のまとめ

2 天皇中心の国づくり

P.26～43 9時間

6年 組 名前

単元の目標

時 日	学習のめあて	学習の記録	評価
1	世界文化遺産の法隆寺とは、どんな建物なのでしょう。		
2	聖徳太子はどのようなことをした人物なのでしょう。		
3	中大兄皇子や中臣鎌足は、どのような国をつくろうとしたのでしょうか。 P.30-31		
4	聖武天皇は、どうして国分寺や奈良の大仏をつくらせたのでしょうか。 p.32-33		
5	大仏はどのようにしてつくられていったのでしょうか。 P.34-35		
6	聖武天皇は、大陸から何を学ぼうとしたのでしょうか。 P.36-37		

子どもの記入例

単元の目標

- ◎武士のくらし、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いとそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産を通して、武士による政治が始まったことがわかる。
- ◎それらにかかわる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味を考えようとする。

時	日	学習のめあて	学習の記録	評価
1		①武士の登場と武士のくらし 武士とはどのような人々で、 どのようなくらしをしていた のか、イラストから考えてみ ましょう。P.44-45	まあまあ、わかった	◎
2	2011.6.17 杵淵	②武士の政治の始まり 武士はどのようにして勢力を のばしていったのでしょうか。 P.46-47	あまりわかりにくい 無念、統一	◎
3	2011.6.30 杵淵	③源氏と平氏が戦う 源平の戦いで、源氏はどのよ うにして平氏を破ったのでし ょうか。P.48-49	まあわかった？ くわしく書きます	◎
4	2011.6.22 杵淵	④源頼朝が東国を治める 頼朝は、どのようにして武士 たちを従えていったのでし ょうか。P.50-51	あまりわかりなかつた た	◎

5 1学期の取り組み

☆成果と課題

(1) 5月末に係活動を見直す。

停滞している係もあるし、負担が大きい係もある。

係を変えてしまう。

結局、1学期に2回の係変更をした。

(2)給食当番に“3日制”

「配膳が15分以内に3日続けて終わったら、当番を次に回す」

(3)協力が進んでいくと、協力しない子ども、自分勝手な子どもが目立つようになる。

担任はどうするか

☆私が子どもたちにしたこと

①子どもたちが動き出す前に、全体に目標を繰り返す。

「みんなができることが大切」

②その子を呼んで、話をする。

「みんなで作るんだよね」

③その子を囲む子どもたちを呼んで話をする。

「A君に給食当番をやるように言ってくれないか。先生が言うより、みんなが言った方がいいと思うんだけど」

④その子がやらないことによって、迷惑を受けている子どもたちに向かって言う。

「A君がやらない分、自分たちがやっているんだと言うことを、しっかりと話しなさい。」

(4)子どもたちの話から

「最近、つまらないけんかがなくなった
よね」

「Mちゃん、先生は友達じゃないんだ
よ」

「誰も相手をしてくれない」

子どもたちは、それなりに変化を感じて
いる

6 同僚との会話

☆家庭科を担当しているM先生

「まだ、始まって2ヶ月だから焦っちゃだめだよ」

☆音楽を担当しているK先生

「評価だけど、D君が全部Cなんだけど」

さて、管理職の理解は？

7 2学期へ

(1)社会を単元ごと、預ける授業を進める。

指導書通りである。

(2)授業を出力型に変える。

(3)結果を出すように求める。

運動会・修学旅行が待っている。

ご清聴ありがとうございました。